

当社の DX 推進に関する方針

当社は、医療機関の情報管理・業務効率化を支援し、患者および医療従事者に付加価値を提供するため、デジタル技術の活用を重要な柱としています。クラウドベースの医療データ共有プラットフォーム「DOCloud」を中心に、医療現場でのデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進を目指します。特に、業務の効率化や診断の精度向上により、顧客満足度を高めるだけでなく、社会全体の医療サービスの質向上に寄与することを目指します。

DX 推進の主な取り組み

1. 顧客向け DX ソリューションの提供

- 医療データの一元管理：クラウド技術を活用し、患者情報の迅速かつ安全な共有を実現。従来の FAX や CD による転送を廃止し、効率化を図ります。
- AI モジュールの導入：診断補助やレポート作成を支援する AI 技術を提供し、医療現場の負担を軽減します。
- モバイル対応：スマートフォンやタブレットを利用した操作性向上により、医療従事者の利便性を高めます。

2. 社内業務の効率化

- タスクの最適化：AI や RPA 技術を活用し、非効率なプロセスを分析・削減します。2025 年度までに非生産的なタスク時間を現状の 25%短縮することを目指します。
- ナレッジ共有：顧客からの問い合わせ情報や販売実績をデータベース化し、迅速な対応を可能にします。2025 年度までに問い合わせ対応時間を現状の 20%に短縮します。

3. セキュリティ対策

- 当社は日本政府の TICS 認証を取得し、高い医療データセキュリティ基準を満たしています。

今後も、GDPR および ISO 27001 認証の取得を目指し、国内外の顧客に安心・安全なサービスを提供します。

- 社内 IT インフラへのセキュリティポリシー適用と最新技術の導入により、外部からの攻撃に強い体制を整備します。

DX 推進体制と教育

- 推進体制：代表取締役が DX 推進責任者を務め、社内外のステークホルダーと連携して DX 戦略を実行します。
- 教育と人材育成：DX 関連の研修および外部講習への積極的参加を支援し、専門性の高い人材を育成します。

目指す成果

- 2025 年度末までに：インドネシアの医療施設での POC サイトを確立し、クラウド型医療ソリューションの市場適合性を実証します。
- 2027 年度までに：社内業務および顧客対応における効率化を現状の 33%短縮し、DX 推進の成果を最大化します。

当社は、医療機関の DX 化を支援するパートナーとして、デジタル技術と専門知識を活用し、社会に貢献することを目指します。今後も、顧客ニーズに迅速かつ柔軟に応え、新たな価値を創出する企業であり続けます。

株式会社 I.W.G

代表取締役 周曉妍